

令和3年度 第1回八王子市食育推進会議	
日時	令和3年8月5日(木) 14時30分～16時00分
場所	生涯学習センター(クリエイトホール)第7学習室
出席者氏名	委員 今富 敦子、浦野 慎一、大村 香織、河村 真奈美、田所 房子、土門 陽子、内藤 里美、浜本 千恵、樋川 寧子、星野 厚子、山本 徹、米津 元一
	事務局 渡邊健康部長、杉野健康増進担当課長、松浦主査、早川、山尾
欠席者氏名	小池 さとみ、梶田 明信、松本 勉、峯尾 誠
議事	(1) 第2期八王子市食育推進計画の令和2年度評価及び最終評価について (2) 第3期八王子市食育推進計画について (3) 八王子市における今後の食育推進の方向性について (4) その他
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 八王子市食育推進会議委員名簿 ・資料2 第2期八王子市食育推進計画について ・資料3 第3期八王子市食育推進計画について ・資料4 八王子市における今後の食育推進の方向性について ・参考資料 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書(概要版)、自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書(減塩について抜粋) ・参考資料2 第2期八王子市食育推進計画取組一覧 ・参考資料3 第3期八王子市食育推進計画における取組内容
1.開会	
発言者	内容
健康増進担当課長	<p>定刻となりましたので、令和3年度第1回八王子市食育推進会議を開催いたします。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本推進会議は設置要綱にもございますように、八王子市における食育に関する取り組みを総合的な見地から協議、意見交換を行う場としております。会議は原則、公開となっております。また、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了解ください。</p>
事務局	<p>本日の傍聴人はいますか？</p> <p>傍聴の方はおりません。</p>

健康増進担当課長	<p>いないようですのでこのまま進行します。 それでは、開催に先立ち、健康部長よりご挨拶をさせていただきます。</p>
健康部長	<p>健康部長(八王子市保健所長)の渡邊でございます。 皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。 第3期八王子市食育推進計画を策定するにあたり、「食育への関心が薄い方や若い世代へのアプローチ」が課題となりました。 課題解決に向けて、行政だけではなく、皆様と連携・協働して食環境を整えることが重要だと考えております。本日の会議後半では本市における今後の食育推進の方向性について、皆様と意見交換をしたいと考えておりますので、忌憚ないご意見をいただけるようお願いいたします。 どうぞ、よろしく願いいたします。</p>
健康増進担当課長	<p>ここから、会議の進行を健康部長の渡邊所長にお願いしたいと思えます。</p>
健康部長	<p>それでは、これより私の方で会議を進めさせていただきたいと思えます。まず、事務局より配付資料の確認をいたします。 事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、配付資料の確認をさせていただきます。 ・次第 ・資料 1 八王子市食育推進会議委員名簿 ・資料 2 第2期八王子市食育推進計画について ・資料 3 第3期八王子市食育推進計画について ・資料 4 八王子市における今後の食育推進の方向性について ・参考資料 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書(概要版)、自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進 に向けた検討会報告書(減塩について抜粋)</p>
健康部長	<p>・参考資料 2 第2期八王子市食育推進計画取組一覧 ・参考資料 3 第3期八王子市食育推進計画における取組内容 以上、不足等ありませんでしょうか。 足りない方は挙手願います。事務局よりお届けいたします。 議事に入る前に、本日が今年度初めての会議となりますので、時間が限られていますが、「委員の皆様による自己紹介」をお願いしたいと思います。</p>

<p>各委員</p> <p>健康部長</p>	<p>【自己紹介】</p> <p>本日の欠席者は「八王子市立中学校 PTA連合会の小池 さとみさん」「八王子集団給食協議会 榊田 明信さん」「一般社団法人八王子医師会 松本 勉さん」「東京都八王子食品衛生協会の峯尾 誠さん」です。</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入ります。議事1、「第2期八王子市食育推進計画の令和2年度評価及び最終評価」について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>2.議事</p>	
<p>発言者</p>	<p>内容</p>
<p>(1)第2期八王子市食育推進計画の令和2年度評価及び最終評価について</p>	
<p>事務局</p>	<p>議事の1に入らせていただきます。資料2の第2期八王子市食育推進計画について説明いたします。</p> <p>まず、(2-1)第2期八王子市食育推進計画の取組評価について83の取組を評価しています。83の取組についての詳細は参考資料2に記載しておりますが、時間の都合上、省略させていただきます。</p> <p>令和2年度評価について、A評価が62、B評価が7、C評価が14という結果でした。B評価とC評価の内容について(2-2)の資料にてまとめております。1.令和2年度取組評価B評価、C評価の21項目について記載させていただきました。評価理由として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イベント、講座、教室等を中止または規模縮小をした上でのイベント開催や代替での周知を行ったため、B評価やC評価としております。参考として令和元年度は、A評価が80、B評価は3、C評価は0となっており、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響でイベントや周知啓発ができないことから、B評価、C評価が例年に比べて増加しています。</p> <p>続いて、(2-3)第2期八王子市食育推進計画取組評価(最終)【抜粋】について説明いたします。第2期八王子市食育推進計画の最終評価の「3.計画よりやや下回った」が5項目、「4.執行しなかった」が2項目となっております。「29 児童・生徒によるレシピコンテストの開催」では5年間の評価がBまたはCとなっており、その理由として健康政策課の取組ではあったが、学校給食課がレシピコンテストを実施していることや健康政策課では大学生や若い世代への取組を充実させていることから、この事業は中止としました。「35 生活習慣病等の疾病予防の推進」については、特定健康診査実施における目標値の国が示している割合が高く、目標まで達成できないことから評価が低くなっております。近隣他市よりも水準は高いが、目標が高いため達成ができていないという現状となっております。他の5項目について</p>

<p>事務局</p>	<p>は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「3.計画よりやや下回った」という評価となっております。</p> <p>次に(2-4)第2期八王子市食育推進計画の指標評価(最終)について説明させていただきます。最終評価の指標は、3つあり、朝食を「ほぼ毎日食べている」人の割合、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする子どもの割合、八王子産の農産物を意識して購入している人の割合を市民意識調査に基づいて記載しています。朝食を「ほぼ毎日食べている人」の割合の目標値は100%となっておりますが、令和元年度では90%前後であり、平成27年度と比較すると横ばいとなっております。高校生、市民については約80%から70%代へと減少しており、注目せざるを得ないところであると感じています。特に市民の中で10代から30代の方の朝食摂取率が低く、参考に市民意識調査の抜粋を掲載しています。朝食の摂取率だけでなく、食育への関心度も若い世代で低い結果から第2期計画の評価としては、無関心層や若い世代に対するアプローチが今後さらに重要になると考えております。そのため、若い世代への直接的なアプローチとして食環境整備事業の充実を図り、市民が自然に健康になれる仕組みづくりを行政だけでなく、団体や企業等との連携、協働した事業を推進していきたいと思っています。</p>
<p>健康部長</p>	<p>事務局の説明が終わりました。御質問、御意見、ございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>朝食欠食の方を減らすことを目標として掲げているが、目標を達成するために具体的に行った取組みについて教えていただけますでしょうか。</p>
<p>健康増進担当課長</p>	<p>子どもに対し、行政では早寝・早起き・朝ごはんを妊娠期のお母さん方を含めて伝えております。お子さんが保育園・幼稚園、小学校、中学校までは色々な場面で朝ごはんの大切さなどを伝えることはできるが、中学校を卒業してからは行政だとなかなか介入できず、民間企業や団体でも中学校以降に関しては自我が出てくるため朝食の摂取のアプローチが難しいところだと思います。さらに親世代に対しては、子どもを通して伝えることは可能ですが、それ以外の方へのアプローチ方法について課題であると感じています。保育園などでの取組などはどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>少し前までは、おにぎりやパンを持たせて保育園で食べさせるよう対応を行っていたが、最近では家で食べてきているのか減ってきています。まずは早起きをすることから始まり、活動をして寝るといった生活リズムをつくるのが大切だと伝えていきます。</p>
<p>健康増進担当課長</p>	<p>ありがとうございます。幼稚園での対応はいかがでしょうか。</p>

委員	幼稚園の場合は保育園と違って、入園されると園での活動で自然とリズムができるので、生活リズムが整っている子どもが多い印象です。午前中に元気な子は朝食を食べていなかったり、前日にお出かけしたのか寝不足の子もたまに見受けられますが、基本的に朝食を食べるように色々な場面において保護者全体に伝えています。
健康増進担当課長	ありがとうございます。小学校ではいかがでしょうか。
委員	私の学校では保護者の方に遅刻してもいいから朝ごはんは食べてきてほしいと伝えています。先ほど、年齢が上がるにつれて、食に関して食べる、食べないの選択の自我が出てくるとの話がありましたが、小学生くらいなら朝ごはんを作ってもらえれば食べてきている様子です。睡眠では高学年になると昼夜逆転する子も増えてきており、問題であると感じています。
健康部長	朝ごはんに関して色々な課題があり、それぞれのところでアプローチをしていただいていることがわかりました。ありがとうございます。 それでは、議事の3に進めさせていただきます。

(2)第3期八王子市食育推進計画について

発言者	内容
健康部長	先ほどの第2期八王子市食育推進計画の課題を踏まえ、第3期八王子市食育推進計画を策定いたしました。それでは、第3期八王子市食育推進計画について事務局より説明をお願いします。
事務局	資料3の第3期八王子市食育推進計画について基づいて説明いたします。(3-1)第3期八王子市食育推進計画の将来像として、食を大切にする人々を育むまちを継続して目指していくことで掲げています。 第3期八王子市食育推進計画の特徴として、平成18年に食育推進基本計画が策定され、食育が浸透しつつあることを踏まえ、第1期八王子市食育推進計画では、食育を知る時期と位置づけております。第2期計画では食育が根付き始めた時期であり、課題としては一定の関心が低い方や若い人へのアプローチが必要であるとわかり、第3期計画では、より多くの市民や民間事業者等、誰もが食育を実践できることを目指し、皆さんで協力しながら自然と健康になれるような食環境整備ができたらと思っております。 先ほどの第2期計画と同様に、第3期八王子市食育推進計画についての最終評価についても目標を掲げさせていただきました。第2期計画では朝食を食べている人の割合でしたが、国と都が朝食の欠食率を掲げていることにあわせて、第3期では朝食を食べていない人の割合を掲げさせていただきます。また、朝食を食べている人だとたまに食べている人が反

事務局	<p>映されないが、朝食を欠食している人の割合では週に2日以上食べている人の数も反映されるためポジティブな印象があるとの意見を昨年の食育推進会議内でいただきました。</p> <p>新しい項目として、「食品ロス」削減のために意識して実践している人の割合、平日の夕食に「ひとりで」食事をする子どもの割合であり、SDGsなどに合わせて追加しています。</p> <p>続いて、(3-2)第3期八王子市食育推進計画の新規取組項目について説明いたします。新規1と新規26が給食センターの設置ですが、全中学校へ温かい給食を提供するよう順次対応しています。また、給食センター内の食育スペースについても地域の食育拠点として設置しております。</p> <p>新規8と新規12に関しては外食産業等と手を組み、健康に配慮した取組の働きかけをし、自然と健康になれるまち八王子を目指していきたいと思っています。</p>
健康部長	<p>第3期八王子市食育推進計画について御説明させていただきました。御質問、御意見ございますでしょうか。</p>
委員	<p>私はフレイル予防という観点から外食産業への働きかけというのが、比較的高年期や中年期で重点が置かれていますが、高年期の外食や中食で、お惣菜を買われる方が多い状況があるので、自分で作るというよりは高齢者の食を支えるような環境というのも整備していただけたらと思います。</p>
健康部長	<p>高齢者の中食の利用の視点も大切であるという重要なご指摘をいただき、ありがとうございました。</p> <p>後ほど説明いたしますが、中食に関して現在、私たちの方で取組を考えているところです。</p>

(3)八王子市における今後の食育推進の方向性について

発言者	内容
健康部長	<p>それでは、議事の3「八王子市における今後の食育推進の方向性について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4に基づき、「八王子市における今後の食育推進の方向性について」説明させていただきます。</p> <p>国の動向として、まず健康日本21(第2次)では基本的な方向として、健康寿命の延伸と健康格差の縮小、生活習慣病の発症予防と重症化予防について掲げられ、健康寿命延伸プランで「自然に健康になれる環境づくり」「行動変容を促す仕掛け(ナッジ)」を取入れることを推奨されました。また、自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会の報告書で特に重要な栄養課題である「食塩の過剰摂取」の対策として「減塩」に</p>

事務局	<p>優先的に取り組むことが明確に示されています。</p> <p>続いて、本市における死因順位は1位が悪性新生物、2位が心疾患、5位が脳血管疾患として、高血圧や糖尿病、脂質異常症など生活習慣病が起因している疾病となっており、食事で改善の余地があるため、生活習慣病予防を推進し、健康寿命の延伸を目指していきたいと思っています。国民健康栄養調査の日本人の野菜と塩分摂取量の結果では、野菜の摂取量が足りておらず、塩分が目標値に対して摂りすぎている現状であることを踏まえ、野菜と減塩の取組が重要であると認識しております。</p> <p>これまでの市の食環境整備の取組みについて、時系列に沿って説明いたします。1つめに平成23年度から令和元年度までの取組みのヘルシーメニュー登録店事業では、野菜120g以上使っているメニューや1食のエネルギー量を550～750kcalに設定した登録要件で実施しました。しかし、メニュー開発など店舗の負担が大きいなどの課題が残りました。</p> <p>2つめは創価大学の学生と連携した「野菜摂取啓発ポスター」の作成を行いました。紙媒体は見ない、インターネットに公開するだけでなく、そこにアクセスする仕掛けが重要であるという課題が見つかりました。</p> <p>3つめとして、先ほどのヘルシーメニュー登録店からはちおうじ健康応援店へと事業をリニューアルし、健康や身体に関心の薄い人が意識しなくても自然に健康に配慮したメニューやサービスが受けられるための取組みを実施しています。店舗数の増加だけでなく、各店舗の取組項目の増加のための支援を行っています。</p> <p>4つめは、健康応援店として登録しているスーパーアルプスと協働し、弁当開発・販売を行いました。エネルギー500kcal以下、塩分相当量2.0g以下、野菜総重量130gで主菜を3種類とし、高齢の方の購入も多く見られました。野菜を全面に出さないことや咀嚼回数から満腹感が得られるような弁当開発をしました。</p> <p>5つめは、市民食育イベントで今年は6月19日に開催しました。例年は市の施設において講座形式で開催していたものを関心の薄い方や若い世代にも参加してもらえるように体験型のイベント形式へ変更し、会場もショッピングモールで開催しました。</p> <p>6つめに秋頃開始予定ですが、はちおうじ健康応援店とスーパーアルプス、味の素との協働事業を進めています。はちおうじ健康応援店のプロの料理人が、味の素の商品を使用した野菜がたくさん摂取できるレシピを考案して、スーパーアルプスで紹介し、家庭での野菜摂取量向上を目指しています。</p> <p>最後に、東京家政学院大学とスーパーアルプスとの産学官連携事業として、東京家政学院大学の学生が、市民の野菜摂取量向上をテーマにスーパーアルプスで商品開発や売り場環境の検討を行っています。</p> <p>市の方向性の案として、現在まで食環境整備事業において市民に対し、</p>
-----	---

事務局	<p>野菜摂取量向上に向けた取組と減塩についての様々な取組を行ってきました。今後の方向性として、減塩に重点を置き、取組んでいきたいと思っております。</p> <p>続いて、参考資料の「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書(減塩について抜粋)」をご覧ください。図8の我が国の食塩摂取量の平均値の年次推移ですが、平成7年の14gから令和元年では10gに減少していますが、未だ「健康日本21(第二次)」の目標には達していない現状です。図10の各国の食塩摂取量について、日本は諸外国に比べて、食塩摂取量が多くなっています。続いて図11では、自宅調理、加工食品、外食からのナトリウム摂取割合を示していますが、半分以上が自宅調理からの摂取となっています。また、図12の各食品群からのナトリウム摂取割合について、調味料類から約6割となっており、しょうゆや味噌などを使用する日本の食文化が影響していると考えられます。これらを踏まえて皆さんからの御意見や話し合いができたらと思っております。</p>
健康部長	<p>資料4に基づき、事務局の説明が終わりました。</p> <p>国が示している自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会の報告書にあわせて、野菜の摂取量向上だけでなく、減塩の取組についてもさらに展開していく方向性を設定しています。具体的な提案について皆さんから御意見をよろしく願います。</p>
健康増進担当課長	<p>地域活動する食育の団体が増え、食に関心を持つ人は増えてきていると感じていますが、40代・50代の方が脳血管疾患などで亡くなっている現状があります。きっかけがあったとしても生活習慣を変えることが難しいとは思いますが、特に味覚はなかなか変えることは難しい部分ではありますが、糖尿病や高血圧で亡くなる方を減らし、「血管を守る」というキーワードのもと進めていきたいと思っております。また、個人を支える友人や企業が増え、意識しなくても健康になれるような食環境を皆さんと作っていきたく思いますので、各立場からの御意見等をお願いいたします。</p>
委員	<p>家庭の食塩摂取量が多いとありますが、具体的にどれくらい使用したら食塩を摂りすぎているのが見えてこないのが気をつけることがなかなかできない現状です。目安があったり、感覚としてわかればよいのですが、難しいと感じています。1つの調味料だけでなく、トータルの調味料の塩分量を把握したうえで減塩する必要があるのも、もっと食塩の摂取量についてわかりやすくする工夫が必要であると思っております。</p>
委員	<p>家庭で調理をする際は家族分をまとめて作るため、一人分の食塩摂取量はわからなかったり、子どもによって食べる量が異なったりします。濃い味付</p>

委員	<p>けにすると食べてくれることが多く、特に野菜を食べさせるためにドレッシングをかけるなど味付けをするため、塩分をたくさんとってしまっています。日頃から子どもに朝食の大切さやなぜ野菜を食べる必要があるのかなどを伝えていますが、本人たちの意識を変えていくことが難しいと感じています。</p>
健康部長	<p>ありがとうございました。調理担当者や個人の努力だけでは難しいことが改めてわかりました。調理担当者だけでなく、食環境として中食や外食産業を含め、減塩に取り組んでいけたらよいと思います。</p> <p>少し切り口を変えて、生産者からの御意見を伺えたらと思います。</p>
委員	<p>私は酪農をしています。スーパーで売られている牛乳と獲れたての牛乳では違いがあります。獲れたての牛乳は脂肪が多く含まれているので濃く感じますが、成分自体は変わっていません。生産者として素材の味を大切にしています。</p>
委員	<p>皆さん、味の無い母乳で育っているはずだが、いつの間にか塩気がほしい、甘みがほしいというように変わってきます。特に両親の食事の環境が子どもに影響してきます。関東や関西での食習慣にも違いがありますが、味覚は習慣で変化してくると思います。</p>
委員	<p>先ほどの説明で、幼稚園・保育園、小学生で朝食を食べない子は約1%であるという結果でしたが、共働きで忙しい家庭で朝食を食べさせることができているのではないかと思います。小学生でも虫歯がない子と虫歯がひどい子は両極端になっています。3度の食事だけでなく、スナック菓子での間食も重要になってくるのではないのでしょうか。食事で塩分に気を付けていても間食で塩分や糖분을だらだらと摂取していることで口の中が酸性の状態になってしまうので、食事だけでなく、間食の視点も取り組んでいく必要があると思います。親の嗜好が子の嗜好に影響を与えることもわかっています。</p>
委員	<p>参考資料の図12で、各食品群からのナトリウム摂取割合について調味料の中でしょうゆが1番の原因となっていることから家で使うしょうゆを減塩のものにしたり、卓上にしょうゆを置かないようにしたり、味見をせず、ソースをかけるのではなく、小皿にとってつけるなどの少しの工夫で随分変わってくるのではないかと思います。ただ実際にはそれだけでは難しいと思います。最近、加工食品を使う人も増えてきていて、加工食品に野菜を少し足すだけなど、家庭料理が半加工品だったりすることが増えているのではないのでしょうか。元々の加工食品が食塩のとりすぎの原因となることもあるので、外食やお弁当などの中食も含めて、減塩のお弁当を販売するなどコツコツ</p>

委員	と食品メーカーと協働しながら減塩に取り組んでいくことが重要であると思います。
委員	地域の体操教室の中で高齢の方から聞き取ったことになりますが、畑で獲れた野菜を何もつけずにそのまま食べている方が多い印象です。「フレッシュな甘みを感じられるような口になるといいね。」などと伝えています。高齢になるとお惣菜などを買ってくる人も多く、生の野菜よりも柔らかくゆでたものを好んで食べている方が多いので高齢の方の視点も取り入れながら、取組みを考えていけたらいいと思います。
健康部長	皆様、貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。健康な食事を自然に選べる環境や知識の普及啓発が必要であるということが見えてきました。すぐに解決には至りませんが、たくさんの御意見をいただいた中で検討し、今後の事業に反映させていきたいと思っています。
(4)その他	
発言者	内容
健康部長	最後の議事として「その他」を用意しておりますが、委員の皆様より連絡事項など、ございますでしょうか。
3.閉会挨拶	
発言者	内容
健康部長	すべての議事が終了しました。 本日はお忙しい中、御出席いただき、ありがとうございました。 皆様にいただいた御意見を参考に検討させていただきますので、よろしくお願いたします。ありがとうございました。